

2022年度東海大学付属浦安高等学校中部 学校評価

中等部 年度	学校運営							学習指導					クラス指導					生活指導				進路指導		特別活動・課外活動						
	1. 全体的にみて、学校に対して満足している。	2. 教育方針や目標を理解している。	3. 付属ならではのメリットがある。	4. 国際交流に関するプログラムが充実している。	5. 施設・設備等の教育環境が充実している。	6. 危機管理や安全対策が図られている。	7. 学校に対して誇りや愛着がある。	8. 意欲的に学習している。	9. 先生は授業や教材を工夫している。	10. 学力や考える力がついていく。	11. 家庭学習や課題（宿題）がきちんとできている。	12. 提出物をきちんと仕上げ、期日を守っている。	13. クラスや学校の一人としての自覚がある。	14. 友だちとの人間関係は良好である。	15. 担任や教科担当の先生との人間関係は良好である。	16. 学校や先生、友だちに悩みや問題を相談することができる。	17. 学校生活が楽しい。	18. 教室の清掃や整理整頓に努めている。	19. 学校行事に積極的に取り組んでいる。	20. 礼儀や挨拶がきちんとできている。	21. 服装・服装等のルールをきちんと守っている。	22. 登下校時に公共の場でのマナーを守っている。	23. 施設・設備・備品等を大切に使用している。	24. 学校のきまりを守っている。	25. 進路指導や面談は適切に行われている。	26. 行事や配布物から進路に関する情報を十分に得ている。	27. 委員会やクラス係の仕事にきちんと取り組んでいる。	28. 部活動に意欲的に参加している。	29. 部活動における先生・コーチの指導は適切である。	30. ボランティア活動に取り組む機会がある。または参加した。
2017	2.7	2.7	3.3	2.7	2.8	2.7	2.6	2.7	2.8	2.7	2.7	3.0	3.1	3.4	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.0	3.0	3.2	3.0	2.8	2.3
2018	3.1	3.0	3.5	3.1	3.1	3.0	2.9	2.9	3.1	3.0	2.7	3.0	3.4	3.5	3.2	3.0	3.4	3.1	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.3	3.1	3.1	3.4	3.2	2.9	2.4
2019	3.1	3.1	3.5	3.2	3.2	3.1	2.9	2.9	3.2	3.1	2.9	3.0	3.4	3.5	3.2	3.0	3.3	3.2	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.2	3.2	3.4	3.3	3.1	2.4
2020	3.3	3.2	3.7	3.2	3.3	3.3	3.0	3.0	3.3	3.3	3.0	3.0	3.4	3.6	3.4	3.1	3.4	3.3	3.3	3.5	3.5	3.5	3.6	3.4	3.3	3.2	3.5	3.4	3.3	2.5
2021	3.4	3.3	3.7	3.3	3.5	3.4	3.2	3.2	3.5	3.4	3.3	3.2	3.5	3.6	3.4	3.3	3.5	3.4	3.4	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4	3.6	3.4	3.4	2.9
2022	3.4	3.3	3.6	3.3	3.4	3.4	3.2	3.1	3.4	3.4	3.2	3.1	3.6	3.6	3.4	3.3	3.5	3.4	3.5	3.5	3.6	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4	3.6	3.4	3.4	2.7
前年度に比べて全体的に大きな評価の減少はなく、今年度も学校運営に関して比較的高い評価が得られた。しかし、評価が増加した項目が見られなかったため、現状に満足せず学校の発展のために教員全員で学校運営を行っていく必要がある。特に、学校に対して誇りや愛着がある生徒の割合を増加させるために、学校の魅力や特色を広めていきたい。							全体的に大きな評価の減少は見られないが、すべてにおいて現状維持か減少という結果であった。そのため、今後減少傾向にならないように、教員はより一層教科の専門家として教材研究を行う必要がある。家庭学習や提出物に関しては、生徒の意識が関係してくるため、これまで同様に、教員からの徹底した呼びかけを継続していくことが望まれる。					学校生活やクラスでの満足度は今年も高い評価が得られ、増加している項目も確認できた。コロナウイルスによる制限が段々と解除されてきたことにより、今年度は様々な行事を実施できたことがこの結果につながったと考えられる。友人とも教員とも良好な人間関係が築けている点は、学校運営の観点からも望ましい傾向であり、日頃の生徒の様子を引き続き注意深く観察していきたい。					多くの生徒が規則を守って生活していることが見受けられる。しかし、週番や地域の方からの評価として挨拶やマナー、身だしなみ等についての指摘が続いている現状があり、今後はルールやマナーを守れていない生徒層に目を向ける必要がある。引き続き、教員集団全体で呼びかけや指導を行い、学び方スタンダードの定着を進めていきたい。				今年度も進路に関して、綿密な指導が行われていることが見受けられた。引き続き中高連携、大学付属の特色を生徒に広め、充実感と考えられる。コロナウイルスの影響により、外部での活動が減少していったことへの影響に留意していきたい。		委員会や部活動に関しては自主的に責任感を持って取り組んでおり、顧問教員との信頼関係も築けていることがうかがえる。ボランティア活動に対しては、SDGsに関する学校での取り組みにはしっかりと参加できているが、個人的な活動にまでは発展していない状況があると考えられる。コロナウイルスの影響により、外部での活動が減少していったことへの影響に留意していきたい。							